

# MITSUBISHI

## M-NET制御インターフェイス

### 形名：MAC-399IF

## 取付説明書

販売店・工事店さま用

## インターフェイスについて

- インターフェイスには取付けできないルームエアコンがあります。  
取付けの前に、接続可能なルームエアコンであるか、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 本説明書で不明な点は、「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」でご確認ください。
- 「三菱ルームエアコン霧ヶ峰、三菱ハウジングエアコン用営業技術ポケットマニュアル」は、「三菱電機システムサービス」でご用意しております。

## 安全のために必ず守ること

- ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上取付けてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付工事終了後、本説明書をお客さまにお渡ししてください。お客さまに、ルームエアコンの「取扱説明書」「保証書」とともに大切に保管していただくよう依頼してください。

**警告** (誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。)

- お客さま自身で取付けはしない。  
不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買上げの販売店または専門業者に、ご相談ください。
- 取付けは、取付工事説明書にしたがって確実に進行。  
取付けに不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 取付けは、重量に十分耐える所に確実に進行。  
強度の不十分な所に取付けると、インターフェイス本体が落下し、ケガの原因になります。
- インターフェイス本体の電気品カバーを確実に取付ける。  
インターフェイス本体の電気品カバーの取付けに不備があると、ほこり・水などにより、火災・感電の原因になります。
- 取付工事は、必ず当社付属部品および指定の部品を使用する。  
部品に不備があると、火災・感電・インターフェイス本体の落下によるケガ・水漏れの原因になります。
- 電気工事は、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」を遵守し、取付説明書にしたがって施工し、必ず専用回路を使用する。  
電源回路容量不足や施工不備があると、火災・感電の原因になります。

**注意** (誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。)

- 静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除く。  
人体などからの静電気は、インターフェイスを破損させる恐れがあります。
- 浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。  
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。
- 特殊環境には使用しない。  
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

## 取付けの前に

### インターフェイスの用いかた

ご：パッケージエアコン用のシステムコントローラーを使用した場合、パッケージエアコンとルームエアコンを同じグループに登録できません。  
注意：ルームエアコンは必ず単独で登録してください。

機能	関連別売部品	システム例
M-NET <sup>※1</sup> を使用したルームエアコン（ハウジングエアコン含む）の集中・個別管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>MEリモコン PAR-F27ME</li> <li>集中コントローラー G-50</li> <li>システムリモコン PAC-SF44SR</li> <li>ON/OFFリモコン PAC-YT40ANR</li> <li>スケジュールタイマー (M-NET) PAC-YT34ST</li> <li>給電ユニット PAC-SC50KU</li> </ul>	<p>集中コントローラー (G-50) を用いたシステム例</p> <p>※集中コントローラー (G-50) に接続可能な台数はパッケージエアコン・ルームエアコン合わせて最大50台です。インターフェイスから集中コントローラーまでの配線は最遠500mです。インターフェイスからMEリモコンまでの配線は10mです。詳細はMELANSカタログ及び集中コントローラー・MEリモコンの説明書を参照してください。</p>

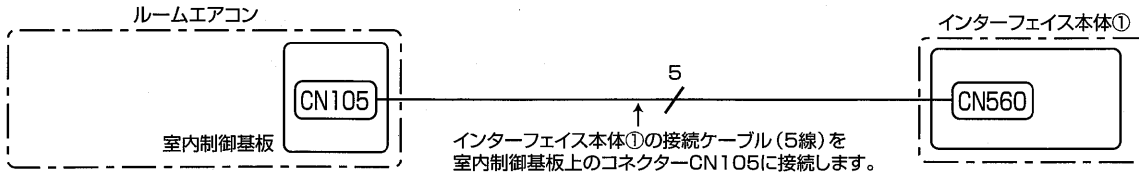
## 使用部品 (イラストを参照して確認してください。)

●取付前に付属部品を確認してください。

付 属 部 品				現地で準備していただく部品				
①	インターフェイス本体 [接続ケーブル(5線)付き]	1	⑧	⑤,⑥の固定用ネジ4×10	ルームエアコンまたはその近くに固定する場合に使用	1	Ⓐ	接続電線 (集中コントローラー) シールド線 CVVS-CPEVS
②	壁面固定用金具	1	⑨	⑤,⑥の固定用ネジ4×16	ルームエアコン部品と共締めし固定する場合に使用	1	Ⓑ	接続電線 (MEリモコン接続用) リモコン線 (2芯シース線0.3mm)
③	②の固定用ネジ3.5×12	4	⑩	結束バンド		4	Ⓒ	関連別売部品
④	クッション材 (粘着材付)	1	⑪	ファスナー (リード線まとめ用)		5		システムにより必要な別売部品を必要数をご用意ください。
⑤	固定用コードクランプ (小)	2	⑫	配線用コードクランプ		5		
⑥	固定用コードクランプ (大)	2	⑬	⑫の固定用ネジ3.5×12		5		
⑦	⑤,⑥の固定用ネジ3.5×12	2	⑭	予備ネジ3.5×12	インターフェイス本体に固定する場合に使用	2		

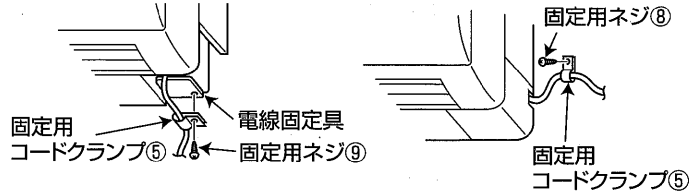
# インターフェイスとルームエアコンの接続

- インターフェイス本体①とルームエアコンの室内制御基板をインターフェイス本体①の接続ケーブル（5線）で接続します。
- インターフェイス本体①から出ている接続ケーブル（5線）を延長または切断しますと、動作不良になります。また、接続ケーブル（5線）を電源電線やアース線とまとめたりしないで、できるだけ離してください。



- ルームエアコンに接続した接続ケーブル（5線）は、ルームエアコンまたは、その近傍に固定してください。

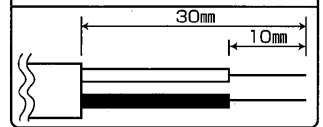
ルームエアコン付属の電線固定具固定ネジが使用できない場合は、固定用ネジ⑨に交換してください。



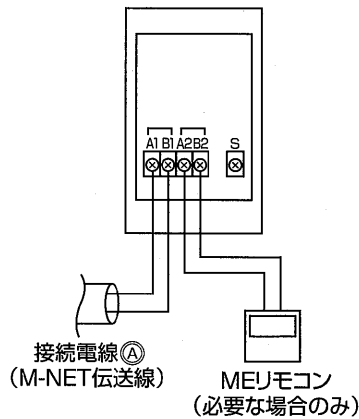
# インターフェイスとM-NET伝送線の接続

- システムコントローラー・MEリモコンとの接続を行う場合、制御信号用端子台にM-NETの伝送線を接続してください。2芯の接続電線④を、A1・B1またはA2・B2に接続してください。（どちらに接続しても大丈夫です。）
- 接続電線④の渡り配線を行う場合のみ、各接続電線のシールド部をS端子を使用して渡らせてください。
- 接続電線④、MEリモコン接続線⑤を端子台に接続する時に、極性を気にする必要はありません。

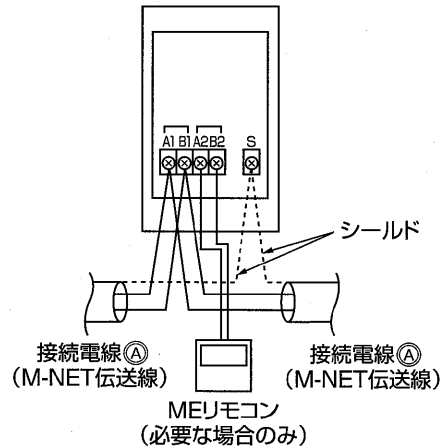
## 電線皮むき寸法



接続電線④を渡り配線としない場合

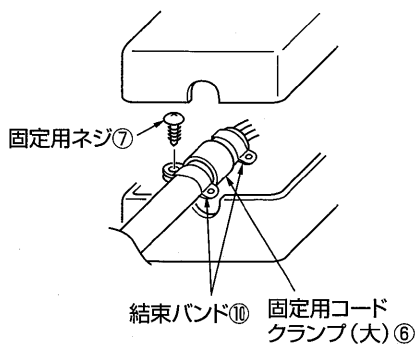


接続電線④を渡り配線とする場合

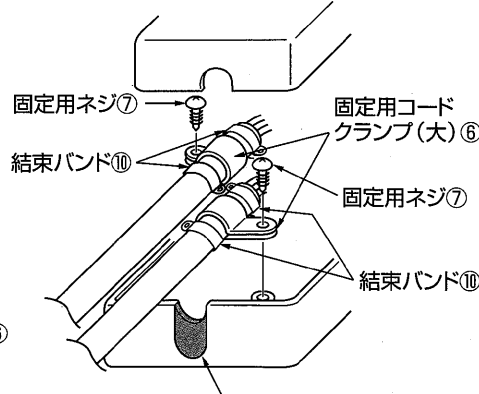


- 配線終了後、各電線を固定用コードクランプ（大）⑥でしっかりと固定し、図のように結束バンド⑩で固定してください。

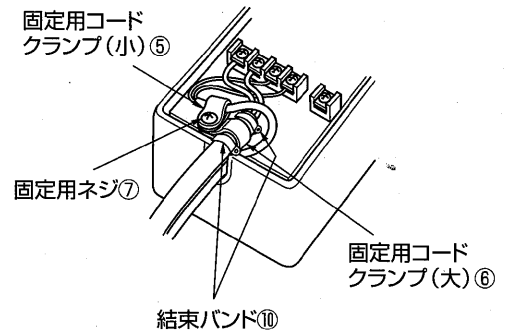
接続電線④を渡り配線としない場合



接続電線④を渡り配線とする場合



MEリモコンを使う場合



接続するケーブルに合わせて、切り込みにそってニッパーでカットする。ニッパーでカットした切り口は、接続電線④を傷つけないように仕上げる。

※露、虫などの侵入防止のため、ケーブルなどの引込口をパテで確実にシールしてください。

- 注意**
- ①配線工事は電気設備技術基準および内線規程にしたがって施工してください。
  - ②接続電線・リモコン接続線は、他の電源用電線からできるだけ離して配線してください。接近していると誤動作の原因となります。

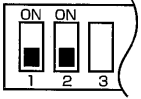
# スイッチの設定

正確に設定されないと正常に動作を行いませんので、電源を投入する前に確実に行ってください。

## SW500の1番,2番...未使用

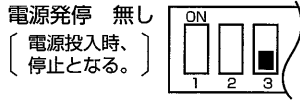
必ずOFFに設定してください。

(ONになっていると、システムコントローラーとの通信を正しく行えません。)



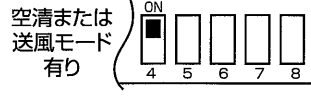
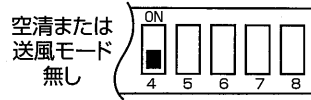
## SW500の3番...電源発停の設定

ルームエアコン、またはインターフェイスの元電源投入時、ルームエアコンを停止とするか、運転とするかを選択します。



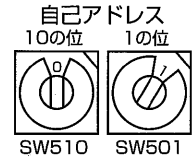
## SW500の4番...ルームエアコンの空清または送風モードの有無

ワイヤレスリモコンに"空清"ボタンが無く、また"運転切換"ボタンを押して"送風"が表示されない場合は、空清または送風モード無し(OFF)です。



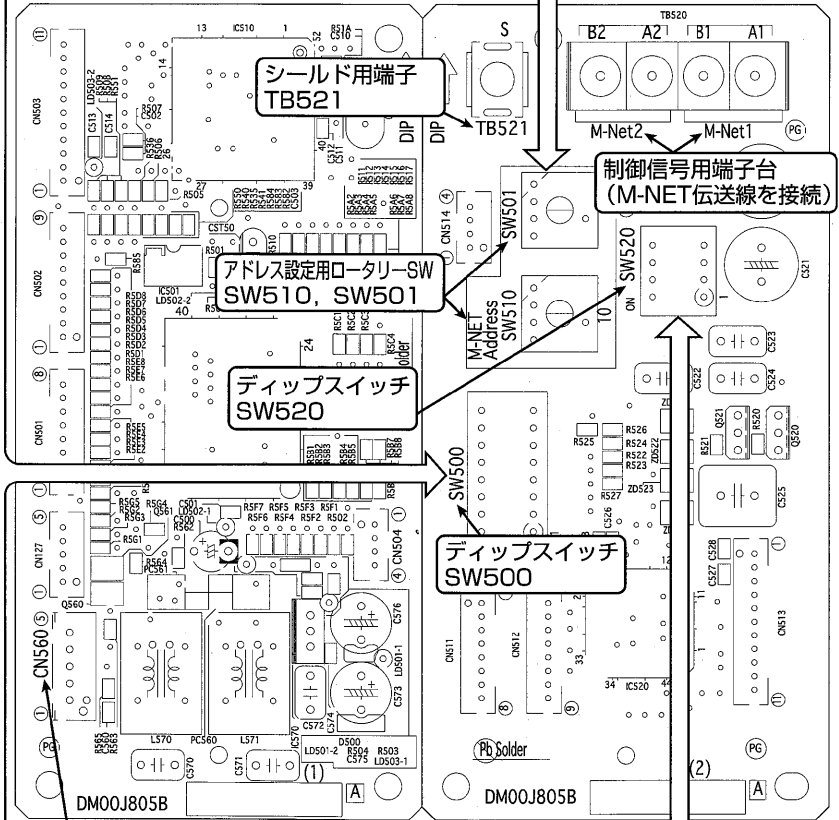
## SW510、SW501...アドレス設定

集中管理用のアドレス設定を行います。(アドレス設定可能範囲:01~50号機) SW510が10の位アドレス、SW501が1の位アドレスとなります。例えばアドレスを「25」に設定する場合には、SW510を「2」、SW501を「5」に設定します。



## SW500の5~8番...ルームエアコンの機能確認

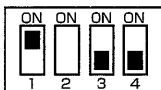
SW 500	機能の説明	機能の確認のしかた	OFF	ON
5番	自動運転モード(運転モードを暖房とするか冷房とするかを、エアコン自身に判断させるモード)の有無	ワイヤレスリモコンの"運転切換"のボタンを押して"自動"が表示されない場合は、自動運転モード無し(OFF)	自動運転モード 無し	自動運転モード 有り
6番	風向上下のスイング設定の有無	ワイヤレスリモコンの"風向上下"のボタンを押して"スイング"が表示される場合は、風向上下のスイング設定有り(OFF) ("風向上下"のボタンが無い場合は、ONとしてください。)	風向上下のスイング設定 有り	風向上下のスイング設定 無し
7番	風向上下の設定の有無	ワイヤレスリモコンに"風向上下"のボタンがあれば風向上下設定有り(OFF)	風向上下設定 有り	風向上下設定 無し
8番	暖房モードの有無	ワイヤレスリモコンの"運転切換"のボタンを押して"暖房"が表示される場合は、"冷暖兼用機種"(OFF)	冷暖兼用機種	冷房専用機種



ルームエアコン用接続端子 CN560 ※接続ケーブルなどをよけて、ディップスイッチの設定を行ってください。

## SW520の1番,3番,4番...未使用

1番...必ずONに設定してください。  
3番,4番...必ずOFFに設定してください。



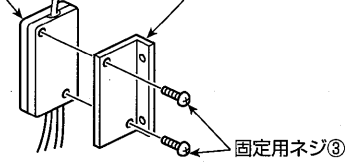
SW 520	機能の説明	機能の確認のしかた	OFF	ON
2番	風速切換の設定	ワイヤレスリモコンの"風速"のボタンを押して"静""弱""強"が表示される場合は、3速(ON) (自動、風ロングは除く)	4速	3速

# インターフェイス本体の取付けかた

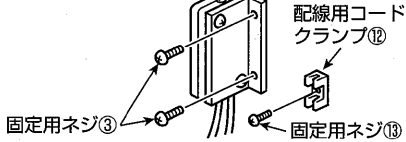
- インターフェイス本体①の設置場所は、インターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)が、室内ユニットへ届く範囲としてください。接続ケーブル(5線)の現地での延長は、正常に動作しなくなりますので、絶対に行わないでください。インターフェイス本体①の取付けは、柱・壁などに2本以上の固定ネジ③を使って確実に固定してください。

## 壁面固定用金具②を使う場合

1. 壁面固定用金具②を、インターフェイス本体①に固定用ネジ③を2本使って取付ける。  
インターフェイス本体① 壁面固定用金具②

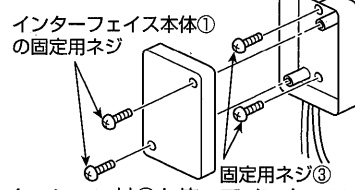


2. 固定用ネジ③2本を使い、柱・壁などに取付ける。

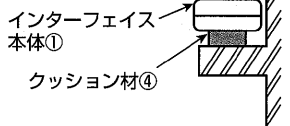


## 壁面に直接取付ける場合

1. 固定用ネジ③を使いインターフェイス本体①のケースを壁面に取付ける。



- ※クッション材④を使ってインターフェイス本体①を取付ける場合は、落下しない場所に固定してください。



インターフェイス本体①を天井内・壁内へ取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けてください。

インターフェイス本体①を室内ユニット上部に取付ける場合には、天面グリルの取外しができなくなるため40mm以上離してください。

この部分からインターフェイス本体①の接続ケーブル(5線)を通してください。余った接続ケーブル(5線)は、室内ユニット本体後部の配管スペースへ収納してください。

取回しにより、たるみが生じた接続ケーブル(5線)はファスナー⑪でとりまとめてください。

# ご使用上の注意事項

※試運転前に一度お読みください。

以下の制約内容については実際にご使用になる方に十分なお説明の上お渡しください。(取付け後はご使用される方に本紙をお渡しください。)

- 本インターフェイスはルームエアコンをパッケージエアコンの制御で動作させるものですが、ルームエアコンとパッケージエアコンの機能上の違いからいくつかの制約が出てきます。
- ①MEリモコン・システムコントローラーで操作した内容は、ワイヤレスリモコンの表示に反映されません。
  - ②ルームエアコン独自の除湿モード(例えばカビガードなど)については、MEリモコン・システムコントローラーで動作させる事はできません。ルームエアコン付属のリモコンで独自の除湿モードを設定した場合、MEリモコン・システムコントローラーには対応するモードがないため"ドライ"と表示されます。
  - ③MEリモコン・システムコントローラーに備わっているルームエアコンに備わっていない機能については、あらかじめ決められた別の運転モードに変換されて運転します。("MEリモコン・システムコントローラー操作時のルームエアコン動作対応表"を参照してください。)
  - ④ルームエアコン付属のリモコンに備わっているMEリモコン・システムコントローラーに備わっていない機能については、あらかじめ決められた表示になります。この場合には実際の動作と表示内容は異なります。(ルームエアコン付属のリモコンで風速自動に設定されるとMEリモコン・システムコントローラーには強と表示されます。また同様に風向自動に設定されるとMEリモコン・システムコントローラーには下吹き80%と表示されます。)
  - ⑤温度設定については、設定温度範囲がルームエアコンの方が広い場合、ルームエアコンで17℃以下、または30℃以上で設定された場合、MEリモコン・システムコントローラーの設定温度表示は、MEリモコン・システムコントローラーで設定できる値のそれぞれ下限、上限に置き換えられて表示される場合があります。(例えばルームエアコンで暖房時16℃と設定されても、MEリモコン・システムコントローラーの表示は17℃となる場合があります)ルームエアコンはルームエアコン本体が検知した室温にしたがって動作します。
  - ⑥タイマー運転は、ルームエアコン付属のリモコンかMEリモコン・システムコントローラーのどちらか一方のみ設定してください。同時期に両方で設定が行われますとタイマーが正常にはたきません。
  - ⑦ルームエアコン付属のリモコンでタイマー設定した場合、MEリモコン・システムコントローラーにはタイマーの表示はされません。
  - ⑧MEリモコン・システムコントローラーでタイマー設定されている場合に、ルームエアコン付属のリモコンで運転を停止しても、MEリモコン・システムコントローラーのタイマーは解除されません。
  - ⑨システムコントローラーで手元禁止にした場合は、ルームエアコン付属のリモコンの操作は受けなくなりますが、操作時の受信音(ピピピッ)は鳴ります。
  - ⑩MEリモコン・システムコントローラーに異常内容が表示された場合、異常の表示をクリアするには、MEリモコン・システムコントローラーまたはルームエアコン付属のリモコンで一度運転を停止してください。(エアコン本体の異常表示は自動復旧する場合がありますが、MEリモコン・システムコントローラーの異常表示は運転停止しない限り復旧しません。)

# MEリモコン・システムコントローラー操作時のルームエアコン動作対応表

MEリモコン・システムコントローラーを操作したときに、ルームエアコンが動作する内容を示します。

	MEリモコン・システムコントローラーの操作・表示	ルームエアコンの動作
電源	運転/停止	運転/停止
運転モード	送風	送風
	自動冷房	冷房
	自動暖房	暖房
	冷房	冷房
	暖房	暖房
設定温度	ドライ	ドライ
	17℃	17℃
	30℃	30℃

	MEリモコン・システムコントローラーの操作・表示	ルームエアコンの動作
風速設定	弱	静
	中1	弱
	中2	弱
	強	強
風向調節	水平吹き	位置 1
	下吹き60%	位置 2
	下吹き80%	位置 3
	下吹き100%	位置 5*1
	スイング	スイング

スイッチ設定によっては表示されない項目があります。

ルームエアコン付属のリモコンで操作された場合には、ルームエアコンは操作された内容と同じ動作をします。そのときにMEリモコン・システムコントローラーの表示内容は実際の動作と異なることがあります。("ご使用上の注意事項"をご覧ください。)

※1 風向切換え4段機種は、位置4。